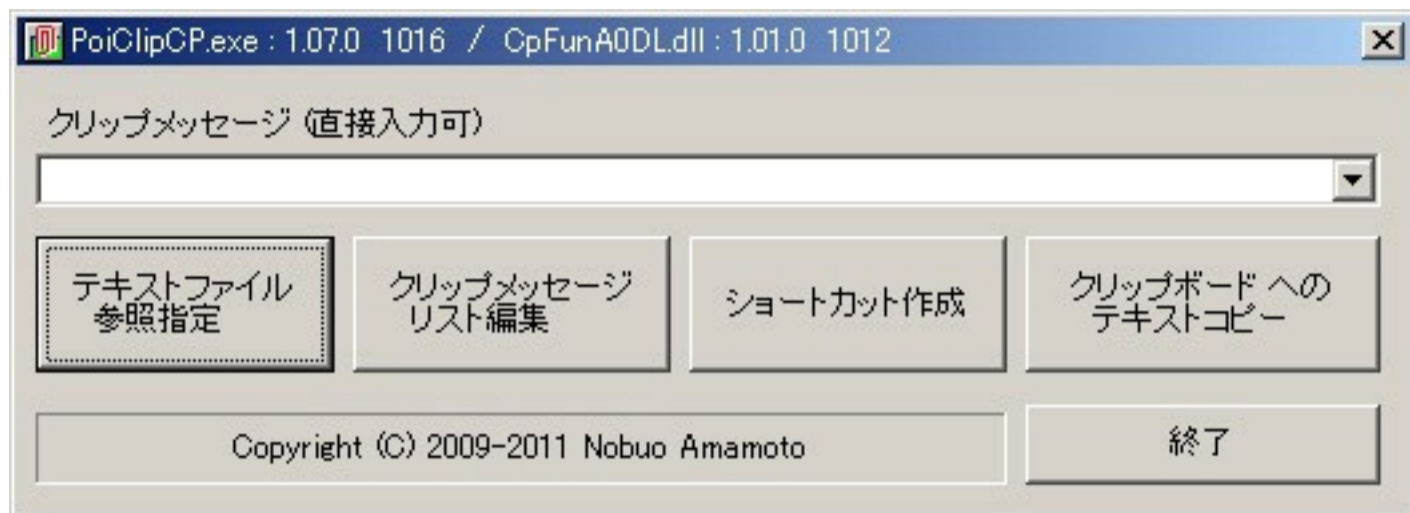


## クリップボードへのテキストコピーツール



P o i C l i p C P ポイ・クリップ・シーピー 取扱説明書 Ver1.07.0



### 事始め

Webメールなどを利用していると、セキュリティの関係でしょう、定期的にパスワードを打ち込むことを要求されます。たまにはログイン名までも要求されることもあります。そのままキーボードから打ち込んでもいいのですが、これをクリップボード経由で行うものです。クリップボード経由ですと事前の準備がなされていればマウスの操作のみで事がすんでしまうので、便利です。

最初は、ほんの1行文字列のみを考えていたのですが、定型文などにも利用したくなり、テキストファイルの内容を簡単にクリップボードにコピーできるようにしました。

### 機能概要

基本的には、文字列をキー入力したものをクリップボードにコピーするものです。1行文字列は事前登録しておくことができます。文字列の代わりにテキストファイルのパス名も事前登録して置けます。

テキストをクリップボードにコピーして利用するスタイルは目新しいものでもなく、便利なツールがすでに多くあります。このツールの特徴はそのままソフトを起動しても使えますが、クリップボードへのメッセージ別にショートカットを作って使うのが、きっと便利な使い方だと思います。

そのために自分で自身のショートカットを作れるようになっています。

また、このツールは他の同様のツールが用いている常駐型ではありません。1回コピー処理が終了するとプログラムも終了する、非常駐型です。非常駐型の欠点は起動時間が余分にかかり動作開始が遅れることです。そのために、起動時間を早くするためにできるだけ軽く作っています。もっともその分機能も単純です。・・・!?

### インストール方法

インストーラは用意していません。

任意のドライブに新規にフォルダを作成 (例えば C:\PoiClipCP とか C:\Program Files\PoiClipCP など)して、解凍されたファイル全てコピーします。後は、PoiClipCP.exe ファイルをエクスプローラ上でダブルクリックすれば動き出します。必要に応じて、通常のショートカットを作り、デスクトップやスタートアップフォルダに入れておけば使いやすくなります。

## バージョンアップ方法

基本的にバージョンアップは PoiClipCP を終了させ、配布された書庫ファイルを解凍して得られたファイルをインストールフォルダに上書きコピーするだけです。インストールフォルダ内のユーザ固有の環境設定ファイルやデータファイルがある場合は引き継がれます。

## アンインストール方法

アンインストーラはありません。

PoiClipCS を終了させた後、PoiClipCS.exe が収まっているフォルダ (インストールフォルダ)ごと削除してください。

インストール時や動作時にレジストリやシステム関連のフォルダは使っていないのでアンインストールはこれで完了です。

また、ショートカットを作成して使われていたら別途削除してください。

## 動作環境

既存のほとんどの日本語版ウィンドウズパソコンで動くはずですが、

実際に動作確認した環境は以下のものです。

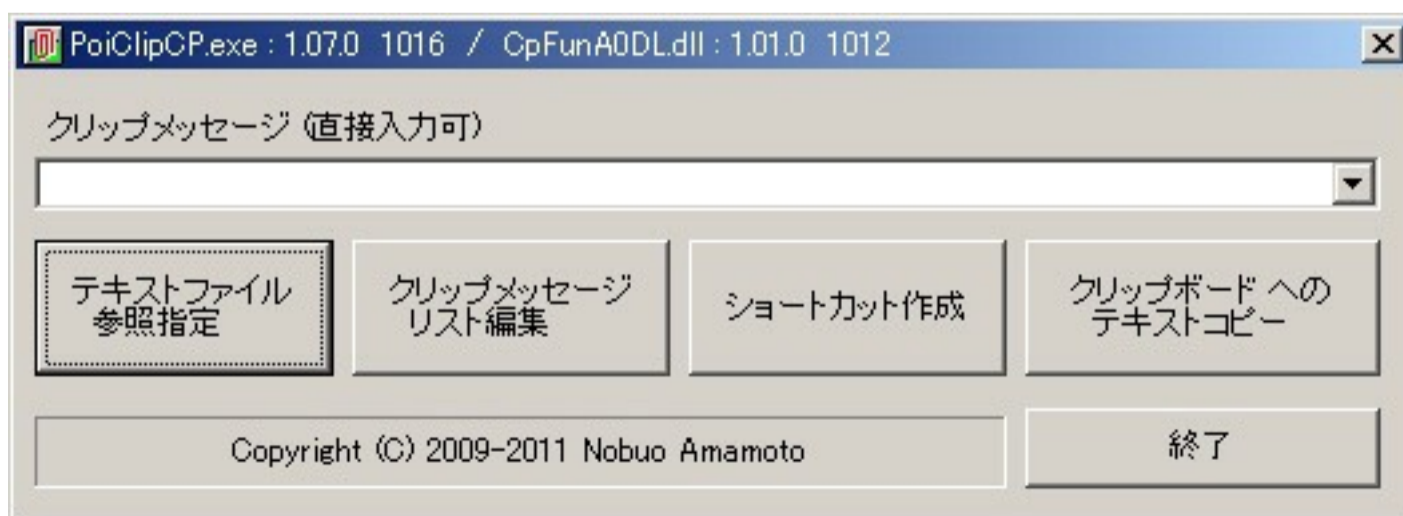
日本語 Windows98 同 Windows98SE

日本語 Windows2000 (SP4) ... 開発環境です

日本語 WindowsXP (SP2)

日本語 Windows7

## メイン画面



## 操作の概要

画面のほぼ中央にある文字列を入力できる枠(コンボボックスといいます)。この枠に任意の文字列を入力し、ボタン「クリップボードへコピー」を押すと、入力されている文字列がクリップボードにコピーされます。

それを確認するには、メモ帳やワードなどのツール(ソフト・プログラム)から「編集」「貼り付け」の操作をすれば簡単に確認できます。

文字列ではなくて、テキストファイルを指定して、その内容をクリップボードにコピーする場合は、上にあるボタン「クリップテキストファイル参照」を押すと、ファイルを選択するダイアログ(ウィンドウ画面の一種)が開きテキストファイルが選択できます。選択したテキストファイルはコンボボックスの枠内に下のような書式で表示されます。

/f="指定されたテキストファイルのパス名"

同様の書式になるように、手入力で打ち込んでも、もちろんかまいません。パス名の部分は「"」ダブルコーテーションで必ずくくります。

あとは、ボタン「クリップボードへコピー」を押すと、指定されたファイルの内容がクリップボードにコピーされます。

事前にメッセージが登録されてあれば、コンボボックスの右にある逆三角形のボタンを押すと、登録されてあるリストが表示されます。リストの中の1つを選択すれば手入力したのと同じ状態になります。

## 個別の操作

### >> この場でクリップメッセージをクリップボードへコピーする

1.コンボボックスのテキスト入力欄にメッセージを入力する。

すでに、登録されているのであれば、コンボボックス右にある逆三角形ボタンを押し、リストから選択する。

テキストファイルとして用意されているものであれば、上のボタン「クリップテキストファイル参照」でファイルを選択する。

その場限りのメッセージであれば手入力する。

2.ボタン「クリップボードへのテキストコピー」を押す。

3.エラーがなく終了音が鳴れば、コンボボックスのテキスト入力欄に対応した文字列がクリップボードにコピーされている。

### >> クリップメッセージを事前に登録する

1.ボタン「クリップメッセージリスト編集」ボタンを押す。

他に、この画面で行うことはありません。

2.以後の操作は「クリップメッセージ編集画面」を参照してください。

## >> ショートカットを作成してクリップメッセージをクリップボードにコピーする。

1. コンボボックスのテキスト入力欄にメッセージを入力する。

この画面で、コンボボックスのテキスト入力欄にメッセージ入力を完了させてください。

「ショートカット作成画面」でもメッセージ入力にはできますがここで行ったほうが簡単で、間違いなくできます。

やり方は、前出の「>> この場でクリップメッセージをクリップボードへコピーする」の場合と同じです。

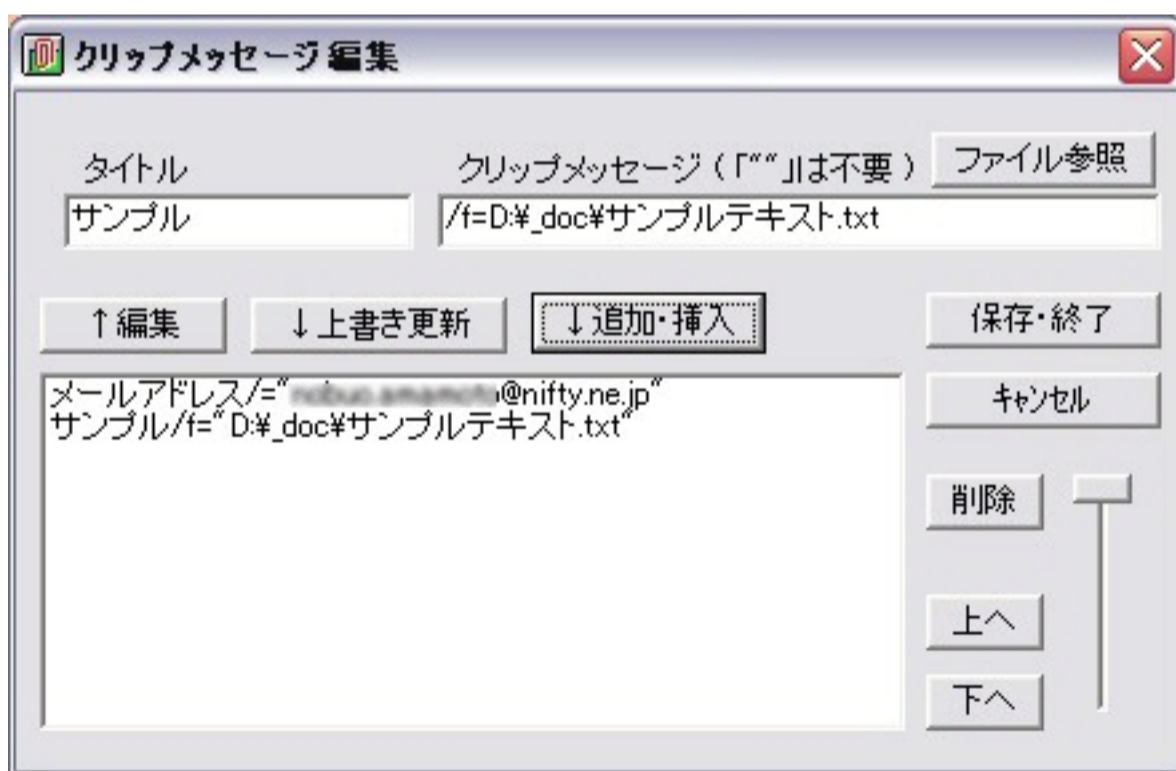
2. ボタン「ショートカット作成」を押す。

一番重要なメッセージ欄はすでに記入された状態で、「ショートカット作成画面」が表示されます。

3. 「ショートカット作成画面」で残りの必要な項目を確認し、この画面のボタン「ショートカット作成」を押す。

詳細は、「ショートカット作成画面」の説明を参照してください。

## クリップメッセージ編集画面



そのファイルの内容をクリップボードにコピーすることになります。

各メッセージには表題(タイトル)をつけることができます。タイトルはクリップボードへのコピーの対象にはなりません。オペレータの認識補助として機能します。また、ショートカット作成ではデフォルトとしてこのタイトルがショートカットのファイル名に使われます。ファイル名で使用が禁止されている文字使用は控えてください。(ピリオド) ¥(円マーク) / (スラッシュ) :(コロン) 等々です。

下部に位置するリストに登録されたとき、タイトルとメッセージは / = の記号で区切られます。また、ファイルを指定した場合は同様に / f = で区切られます。

### 編集領域の入力

登録されているメッセージには自動的にダブルコーテーションでくくられます。ファイルのパス名も同様です。

しかし、編集画面ではダブルコーテーションでくくる必要はありません。登録時に自動的に付きます。

また、編集画面でファイルのパス名を指定する場合は行頭に / f = が必要です。これは単純メッセージと区別するためです。

単純メッセージを記述する場合は / = を記述する必要はありません。普通に必要な文字列のみ記述すれば、タイトルがあるときのみ区切りコードとして / = が登録時に自動的に付きます。

入力したものを下部領域のリストに登録するには、ボタン「追加挿入」を押します。また、リストの中の1つを選択して、ボタン「上書き更新」を押すとその行が上書きされます。

### 各部の説明

#### >> 「編集」

既存の登録メッセージを編集するとき押します。

修正したいリストの1つを選択し、ボタン「編集」を押します。選択されたタイトルとメッセージが編集領域にコピーされます。

#### >> 「上書き更新」

編集領域の内容を既存のリストの1つに上書きするとき押します。

リストの中から1つ(ある1行)を選択し、ボタン「上書き更新」を押すと、編集領域の内容が指定された行に反映されます。

#### >> 「追加・挿入」

編集領域の内容を追加でリストに加えたいとき押します。

リストが選択されているときは、その上部に加えられます(挿入されます)。選択されていないときは最後の行に加えられます。

## >> 「ファイル参照」

メッセージ編集でメッセージとしてテキストファイルを指定したいとき押します。ファイルの選択ダイアログが表示され、そこからファイルを選択し、パス名をえることができます。このとき、行頭に /f= も自動的につけます。

## >> 「削除」

リストの 1行を選択して、このボタンを押すと、その行がリストから削除されます。

## >> 「上へ」「下へ」

リストの 1行を選択して、このボタンを押すと、その行が 1つ上に押し上げられる、もしくは 1つ下へ押し下げられます。

リスト項目の順番を変えるボタンです。リストの順番はメイン画面のコンボボックスで表示するリストの順番と同じです。

## >> 「スライド」

画面右にある縦方向スライドを下に押し下げると、表示画面が下方方向に大きくなり登録リストの表示領域が大きくなります。

登録数が多くなって、全体が見えなくなったとき使用します。

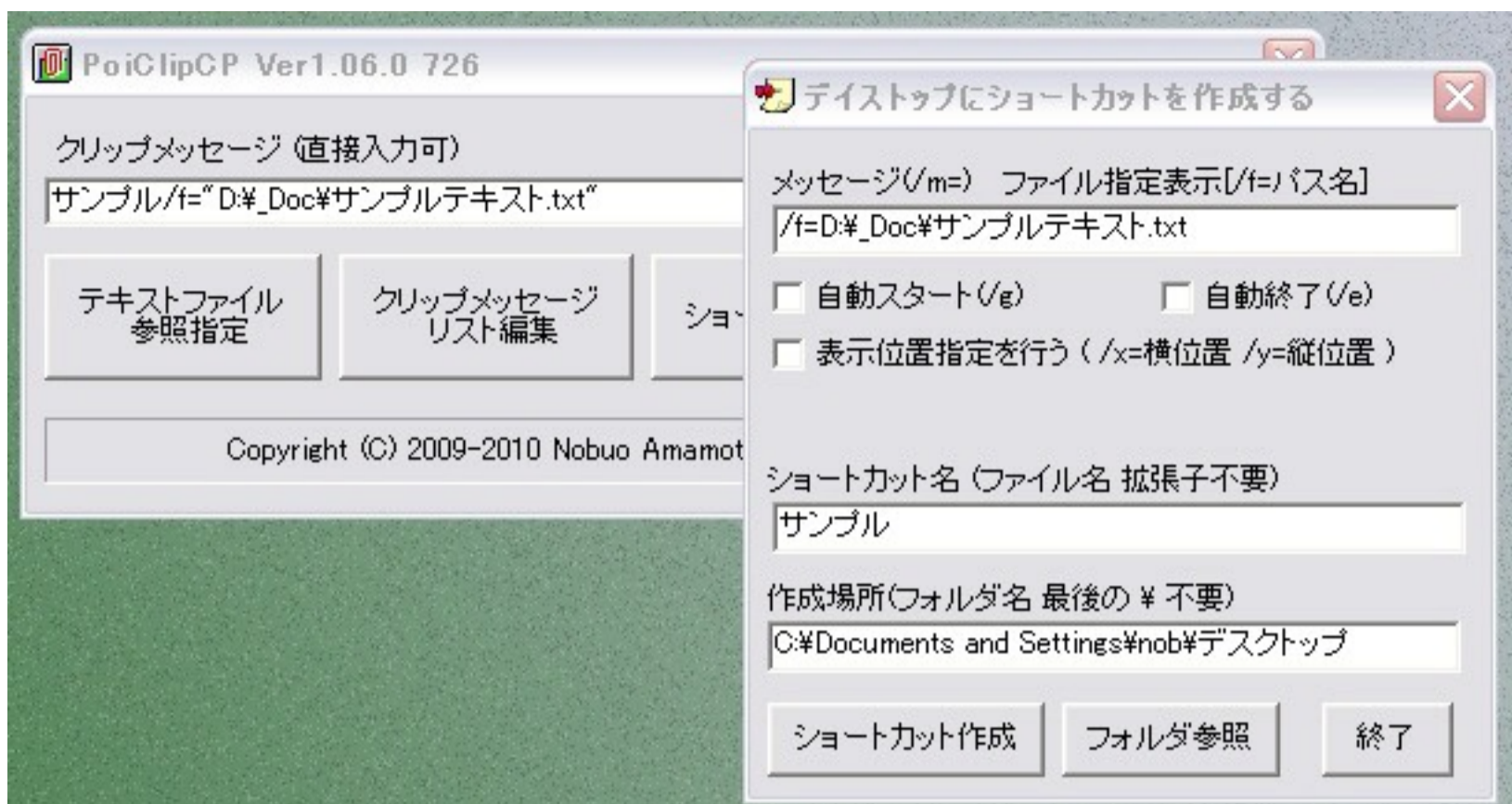
## >> 「保存・終了」

現状の登録リストの内容を、ファイル (ClipData.txt)に書き込み、クリップメッセージ編集画面を閉じます。

## >> 「キャンセル」

この「クリップメッセージ編集画面」での操作をすべて無かったものとして、クリップメッセージ編集画面を閉じます。

ショートカット作成画面



## 操作の概要

ショートカット画面はメイン画面のボタン「ショートカット作成」を押すことにより表示されます。このとき、メイン画面のコンボボックス内にクリップメッセージが記述されていれば、それが反映されます。

... ショートカット作成画面ではダブルコーテーションがはずされていることに注意してください。 ...

メイン画面で、メッセージを指定しなかった場合は、ここで記述することもできます。記述する場合は、単純な1行メッセージは、そのままメッセージのみを書きます。ダブルコーテーションは不要です。テキストファイルを指定するには、/f= で始め、つづいてテキストファイルのパス名を記述してください。この場合もダブルコーテーションは不要です。

なお、タイトル部の記述は禁止です。この欄はクリップボードへのコピー文字列のみの記述になります。

さらに、この画面では事前の登録メッセージの利用やファイル選択などの機能は用意されていません。キー入力のみが可能です。

各部を確認してショートカット作成画面のボタン「ショートカット作成」を押せばデスクトップにショートカットが作成されます。

... ボタン「ショートカット作成」はメイン画面にも同名のボタンがありますので注意してください。

## 各部の説明

### >> 自動スタート

PoiClipCP.exe が起動すると、すぐにメイン画面のボタン「クリップボードへコピー」が押されたのと同じ動作をおこないます。

すなわち、メッセージのクリップボードへのコピーが始まります。

## >> 自動終了

クリップボードへのメッセージがコピーされると、メイン画面のボタン「終了」が押されたのと同じ動作を行います。  
すなわち、プログラムが終了します。ただし、処理中に何らかのエラーが生じた場合はこの指定は無視されます。

## >> 表示位置指定を行う

起動されたときのメイン画面の左上位置を指定します。  
チェックを入れると下段に縦横の位置指定の領域が表示され指定が可能になります。

## >> ショートカット名

メイン画面のクリップメッセージで、タイトルが表示されていれば、そのタイトルがデフォルトとして表示されます。  
またタイトルがない場合は「Poic lipCPのショートカット」がデフォルトのファイル名になります。  
このファイル名は、その都度、自由に変更してかまいません。ただし拡張子は指定できません。  
現状 (Ver1.05.0現在) では、ショートカットを作るフォルダはデスクトップと固定しています。

ショートカットの拡張子は通常使用ではほとんど表面化しませんが「lnk」と決められています。

## >> 作成場所

ショートカットを作成するフォルダのパス名を指定します。デフォルトは「**ユーザ別のデスクトップ**」になっています。  
ボタン「フォルダ参照」で任意のフォルダに変更できます。

書込み禁止のフォルダにショートカットの作成を試みると失敗します。フォルダが存在するのにショートカットファイルの作成に失敗する場合は、そのフォルダへの書込み禁止になっていることが考えられます。この場合は書込み禁止を解くか別のフォルダに変更してください。特に、Windows7 などセキュリティ関連が厳しくなったパソコンでは注意してください。。

## 起動時のパラメータスイッチ

Poic lipCP のパラメータスイッチは、/ (スラッシュ) で始まります。スイッチの英字は全て小文字です。  
スイッチに追加情報が必要な場合は =(イコール) でつなぎます。それが文字列の場合は " (ダブルコーテーション) でくくります。

このツールには自身のショートカットを作る機能がありますので、作成したショートカット



のプロパティを覗けば、以下のパラメータスイッチは容易に確認できます。  
ショートカットを部分変更する場合、改めて作り直すより、できたショートカットのプロパティ画面で直接修正したほうが手っ取り早い場合がありますので参考にしてください。

>> /m = "クリップボードへの任意の文字列"

クリップボードへコピーする1行文字列です。文字列は「」ダブルコーテーションでくくります。ショートカットの引数は最大255文字のようです。このため、指定できる文字数の制限を受けます。

>> /f = "テキストファイルのパス名"

/m = による直接指定では文字数の制限や改行など指定できない制限がありますが、ファイルを使うとこれがなくなります。  
ファイルはテキストファイルに限ります。パス名は「」ダブルコーテーションでくくります。  
/m = と /f = は同時に指定はできません。

>> /g

自動スタートの指定です。  
起動されると「クリップボードへコピー」ボタンが押されるのを待たずにコピーを実行しにいきます。

>> /e

自動終了の指定です。  
クリップボードへコピーが正常に終了するとすぐにウィンドウが閉じ、プログラムが終了します。失敗した場合はこの指定は無視されます。

>> /x = <数値> /y = <数値>

メイン画面が表示される場合、その位置を画面の左上で指定します。  
/x = で横位置、/y = で縦位置を指定します。/g と /e が指定されている場合は表示されている時間がほとんど無いので意味をもちません。

その他、使用上の注意など

>> 登録されるクリップメッセージは ClipData.txt のファイル名でテキストファイルとして保存されます。

ファイルの場所は、PoiClipCP のインストールフォルダ (PoiClipCP.exe の存在フォルダ) です。レイアウトさえ守ってもらえれば直接メモ帳などのテキストエディタ(ワープロではありません!)で追加修正も可能です。最近では使用する文字コードを選択できるエディタがあるようです。保存する場合の文字コードは必ず Shift-Jis コードにしてください。

>> クリップボードへのメッセージに対する暗号化処理などはありません。

各種 ID コード、パスワードなどを登録する場合は充分にご注意ください。メッセージの登録ファイル ClipData.txt もただのテキストファイルで、誰でも閲覧できるものです。特に外出で持ち歩くようなモバイル、ノートパソコンに、バンキング情報やパスワードなどの重要事項の設定はお勧めできません。

>> 著作権はこのソフトの作成者である 天本宣雄 が持ちます

P o i C lipC P はフリーウェアとして配布しています。ただし、作成者(天本宣雄)は著作権を放棄していません。

質問・要望・バグ報告等がありましたら、以下までご連絡ください。

... ご返事等お約束はできませんができるだけ対処したいと思います。...

天本宣雄 E-Mail [nobuo.amamoto@nifty.ne.jp](mailto:nobuo.amamoto@nifty.ne.jp)

WebPage <http://homepage1.nifty.com/yaneurazikken/>

....